

登米市

秋の交通安全だより

令和7年 **秋**の交通安全市民総ぐるみ運動

実施期間 令和7年 9月21日(日)~30日(火)



歩行者も、自動車や自転車に乗る人も、市民総ぐるみで交通事故ゼロへ！

◆ 歩行者の交通安全防止

- 反射材を活用しましょう。
夕暮れ時以降は、歩行者の姿が運転者などから認識しにくくなります。外出する時には明るい目立つ色の服装と反射材をつけて、自分の存在をアピールしましょう。
- 歩行者も自ら注意して事故を防ぎましょう。
道路を横断する際には、止まって左右の安全を確認し、横断中も周囲の安全を確認しながら渡りましょう。



◆ 自転車の交通安全防止

- 自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう。
- 自転車運転中の「ながらスマホ」や飲酒運転も罰則の対象です。交通事故を起こさないよう、安全に自転車を利用しましょう。

◆ 自動車の交通安全防止

- 夕暮れ時は早めのライト点灯で、夜間はハイビームも活用しましょう。
- 飲酒運転は重大な犯罪です。「飲酒運転、しない、させない、許さない」
- 「ながらスマホ」は大変危険です。絶対にやめましょう。

登米市・登米市交通安全対策協議会
佐沼地区交通安全協会・登米地区交通安全協会
佐沼地区安全運転管理者会・登米地区安全運転管理者会
佐沼地区安全運転管理者事業主会・登米地区安全運転管理者事業主会
佐沼警察署・登米警察署

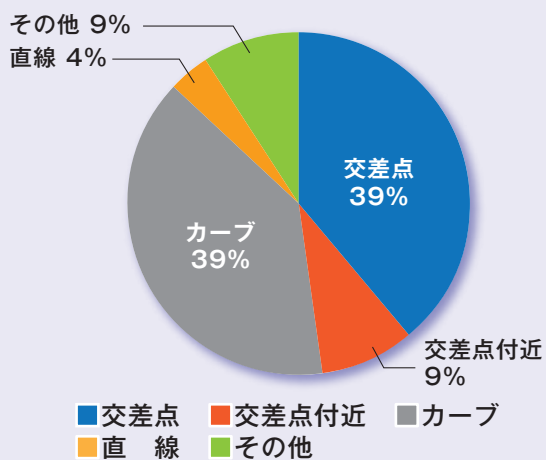
登米市内の交通事故発生状況(令和7年上半期)

本市において、令和7年1月から6月末までに発生した人身事故の件数は23件で、前年同時期と比較し42.5%減少しました。また、死者数は0人で、令和7年4月22日に登米市交通死亡事故ゼロ6か月を達成しました。

人身事故の内容について分析すると、半数近くの48%が交差点と交差点付近で発生している状況です。

また、交通事故の死傷者割合では高齢者が全体の34.5%、交通事故の発生割合では高齢運転者が全体の43.5%を占める状況です。

道路形状別交通事故発生状況



●交通事故発生状況(件・人)

| | 人身事故発生件数 | 死者数 | 負傷者数 |
|------|----------|-------|--------|
| 令和7年 | 23 | 0 | 29 |
| 令和6年 | 40 | 1 | 45 |
| 増減数 | ▲17 | ▲1 | ▲16 |
| 増減率 | ▲42.5% | ▲100% | ▲35.6% |

●交通事故の死傷者割合(人)

| | 歩行者 | 自転車 | 子供 | 高齢者 |
|--------|------|------|------|-------|
| R7死傷者数 | 2 | 1 | 0 | 10 |
| R6死傷者数 | 6 | 1 | 0 | 8 |
| 増減数 | ▲4 | 0 | 0 | 2 |
| 割合 | 6.9% | 3.4% | 0.0% | 34.5% |

子供は未就学児、園児、小学生及び中学生。高齢者は65歳以上

●交通事故の発生割合(件)

| | 若年運転者 | 高齢運転者 |
|--------|-------|-------|
| R7発生件数 | 3 | 10 |
| R6発生件数 | 3 | 15 |
| 増減数 | 0 | ▲5 |
| 割合 | 13.0% | 43.5% |

若年運転者は16～24歳の運転者。高齢運転者は65歳以上の運転者

※佐沼警察署・登米警察署調べ
(R7.1.1～R7.6.30の数値。前年同時期との比較)

～飲酒運転は犯罪です～ 飲酒運転に関する情報の公表

令和7年1月から6月までに、飲酒運転により検挙されたことを宮城県公安委員会より通知された登米市民は、**4人**です。

※宮城県飲酒運転根絶に関する条例第11条第1項第1号に基づき、宮城県公安委員会より通知を受けた住民の数

夕暮れ時の交通事故防止！「ラ・ラ・ラ」運動

～あなたを守る3つのラ～

ライト・オン ≡Light on≡
～早めのライト点灯～

ライト・アップ ≡Light up≡
～反射材でライトアップ 明るい服装を～

ライト・ケアフル ≡Right careful≡
～ライト(右側)からの歩行者に注意～

